



The world of MINOYAKI



The world of MINOYAKI

# 日本のやきものは

岐阜県東濃地方では良質な粘土、薪となる赤松林、窯に適したなだらかな山がそろう自然の恩恵を生かし、やきものの産地として、1300年以上もの歴史を刻むなか、独創的で斬新な茶陶から大量生産の日用食器まで多種多様なやきものが焼かれてきました。それらを総称して「美濃焼」と呼んでいます。特定の作風や技法、形式をさすのではなく、つくられた地域を限定した名称なのです。移りゆく時代や人々のニーズに応え、日々の生活にひっそりと寄り添いながら進化してきた柔軟性と、それを実現する技術力が美濃焼の魅力といえます。あなたが今朝コーヒーを飲んだカップも、実は美濃焼だったら、ロマンを感じませんか？そんな「美濃焼」の多様性をのぞく旅に出かけましょう。作り手と使い手の間にある濃やかで、美しいストーリーがあなたを待っています。

## あれもこれも実は“美濃焼”



- 02 プロlogue
- 03 コンテンツ
- 04 美濃焼の产地
- 06 美濃焼の歴史
- 14 美濃焼の可能性
- 16 美濃焼を見る
- 18 美濃ゆかりの人間国宝
- 20 美濃焼の作家
- 26 美濃焼の虜たち
- 28 美濃焼を体験
- 30 美濃焼と美食
- 32 美濃焼を買う
- 34 東濃イベントカレンダー
- 36 エリアマップ
- 38 美濃焼の旅INFORMATION

美濃焼のふるさとをめぐる  
の  
産  
地



## 美濃焼のふるさとをめぐる

美濃焼は、主に岐阜県多治見市、土岐市、瑞浪市、可児市で生産された、やきものの総称です。この地域は日本でも有数のやきものの産地で、和・洋食器類の生産量は現在、国内シェアの50%以上を占めています。

明治時代以降、大量生産化に伴い、製品ごとの産地分業化が進みました。各地域に特徴あるエリアが形成され、それぞれ技術や文化を受け継ぎ、製品をつくり続けています。

多治見市では「盃の市之倉」「徳利の高田」

「洋食器の滝呂」「タイルの笠原」が知られています。土岐市には「どんぶりの駄知」「美濃白磁で有名な妻木」「徳利生産日本一の下石」など、特色ある地域がそろいます。瑞浪市は食器からニューセラミックまで幅広い陶磁器を生産する瑞浪地区、洋食器の一大産地の陶地区に分かれています。

多くの陶芸作家の活動拠点にもなっていて、各地に工房が開かれています。博物館や美術館など、美濃焼関連施設も点在しています。

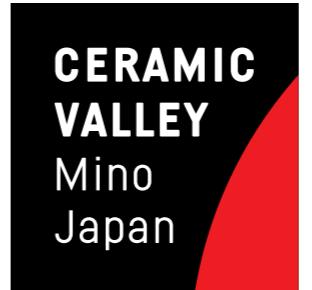


## 美濃焼ブランドの再構築 「セラミックバレー構想」

分業、専門化が進む美濃焼業界において、多様性の統合を図り、美濃焼の伝統や価値を共有しつつ、文化や歴史、産業をリブランディングして、地域の活性化につなげていこうとする動きが生まれています。

それが「セラミックバレー美濃」。作家や窯元、商社や関連企業が集う多治見、土岐、瑞浪、可児の4市を中心とした美濃焼の産地を表現する旗印です。2021年4月には、地域全体での発展をめざす民間組織「セラミックバレー協議会」が発足しました。

「世界は美濃に憧れる。」をキャッチコピーに、美濃焼の魅力を国内外もとより、海外にも広く発信していくことを目標に掲げ、第一歩を踏み出しています。世界へ向けての物販や、やきものを通して日本文化を広める「From MINO」。旅行客の誘致による産業観光の活性化をめざした「To MINO」。この両面からアプローチを展開して、美濃焼業界の未来を切り拓こうとする取り組みに、今、期待が高まっています。



ロゴの右下にある赤い形は、大きな円の一部です。その目に見えない大きい円が、地域、環境、地球、そこに生きる人たちの想いなど、さまざまなモノやコトを意味しています

## 「国際陶磁器フェスティバル美濃」

次回、第13回を2024年に開催(2024年10月18日~11月17日)  
会場:セラミックパークMINO 他

「国際陶磁器フェスティバル美濃」は、1986年から3年に1度開催している世界最大級の陶磁器の祭典です。「土と炎の国際交流」をメインテーマに、陶磁器のデザインと文化の国際的な交流を通じて、更なる陶磁器産業の発展と文化の高揚を目指しています。

メイン催事である「国際陶磁器展美濃」は、国際的に認知された陶磁器コンペティションで、世界中の国と地域の作品が一堂に会す展覧会です。イタリアの「ファエンツァ国際陶芸展」、韓国の「世界陶磁ビエンナーレ」、台湾の「台湾国際陶芸ビエンナーレ」と並ぶ世界4大陶磁器コンペティションと称されています。

期間中はメイン催事に加え、来場された方が美濃焼の魅力や地域の風土を存分に感じ、楽しむことができる副催事を地域各所で多数開催します。

### 【セラミックパークMINO】

メイン会場となる「セラミックパークMINO」は、豊かな自然と融合するように建てられた施設で、展示ホール、作陶施設、美濃焼ショップ、茶室などの様々な施設を有する美濃焼のテーマパークです。また、近現代の陶芸作品が集まる「岐阜県現代陶芸美術館」が併設されており、ゆっくりと陶磁器文化に触ることができます。



(上)前回(第12回)の国際陶磁器展美濃  
(左)会場となるセラミックパークMINO

美濃の歴史  
窯の変遷

時代区分	古墳時代～奈良時代	平安時代	鎌倉時代～室町時代	安土桃山時代	江戸時代	明治時代～大正時代	昭和時代～現代
<b>須恵器</b> すえき 5世紀に朝鮮半島から伝わった硬質土器。美濃には7世紀頃に生産技術が伝わり、美濃焼の始まりとなる	<b>灰釉陶器</b> かいゆうとうき P7→  <b>緑釉陶器</b> りょくゆうとうき	<b>山茶碗</b> やまぢやわん P7→  <b>古瀬戸系施釉陶器</b> こせつけい せゆうとうき 15世紀後半に瀬戸から伝わった施釉陶器。もとは尾張瀬戸窯において中国・朝鮮の陶磁器や金属器をモデルに生産された	<b>黄瀬戸</b>   桃山陶 きぜと P8→  <b>織部</b>   桃山陶 おりべ P9→  <b>御深井</b> おふけ 長石を混ぜた灰釉を施した陶器で、淡緑色の発色から「美濃青磁」とも呼ばれた	<b>瀬戸黒</b>   桃山陶 せとぐろ P8→  <b>志野</b>   桃山陶 しの P9→	<b>磁器</b> じき  <b>西浦焼</b> にしうらやき P10→	  <b>桃山陶復興</b> P11→	
							
古墳～奈良	鎌倉～室町	江戸	明治～大正	昭和～現代			
<b>窯窯</b> あながま 山の斜面を利用した地下式または半地下式の窯で、時代が下るにつれ改良されて、量産が可能になっていく	<b>大窯</b> 15世紀末、地上式の窯が考案される。天井が高く、炎が上へ吹き上がる構造のため、製品を高く積み上げて焼くことができた	<b>連房式登窯</b> 17世紀初頭に導入された新形式の窯。複数の焼成室が階段状に連なっており、大量生産化が進んだ	<b>石炭窯</b> が開発され、大正、昭和にかけて普及した	<b>重油窯、ガス窯、電気窯</b> が登場。近年はマイクロ波による陶磁器焼結法の開発研究が進められています			

「唯一無二」「破格」美濃桃山陶の稀有なる創意の軌跡に首を垂れる。然るに、かくありたいと願う心の胎動は抑えがたく、今日も一品陶土で塊を生み出す / 多治見市美濃焼ミュージアム館長 岩井利美

# 一大生産地への序章

## 大量生産された庶民の器「山茶碗」

11世紀末、美濃では無釉の陶器がつくられ始めます。この変換にはさまざまな理由が考えられます。釉薬をつける灰釉陶器は手間がかかるうえ、大量生産できない点が大きかったと思われます。

無釉とすることで重ね焼き(大量生産)が可能となり、碗や皿などが焼かれて、庶民向けの器として流通しました。山中の窯跡で、廃棄された破片が多数採取されることから「山茶碗」と呼ばれています。簡素なつくりながら、土のキメが細かく、薄手で、陶工の技術の高さが見て取れるやきものです。

12世紀(平安時代末期)から15世紀(室町時代)にかけて、約400年もの長きにわたって生産され、主に東海地方で消費されました。14世紀頃になると、より生産効率をあげるために茶碗や皿は薄く小型化し、ロクロ目が目立つなど雑なつくりになってしまいます。最終的には高台さえなくなってしまいました。

15世紀の中頃には山茶碗と並行して、古瀬戸系施釉陶器もつくられました。美濃にやってきた瀬戸の陶工によって生産されたもので、8基の窯が確認されています。



灰釉陶器 長頸瓶  
多治見市教育委員会蔵



山茶碗 碗・小皿  
多治見市教育委員会蔵

人間国宝の茶碗から若手作家の作品まで、見たり触れたり楽しめる施設があちこちにあります。個性豊かな陶芸の魅力を発見してください / とうしん美濃陶芸美術館学芸員 舟語小津恵

— 黄瀬戸 —  
KIZETO

## 温かみのある色に惚れ惚れ

中国のやきもの「華南三彩」の影響で誕生したと言われています。灰釉に含まれたわずかな鉄分が酸化炎焼成により、渋くすんだ黄褐色を発色させ、全体に温かみが感じられるやきものです。器の形は歪みなく、端正。

黄瀬戸花入 元屋敷東窯 重要文化財 土岐市美濃陶磁歴史館蔵

— 瀬戸黒 —  
SETOGURU

## その漆黒に目が吸い込まれる

鉄の釉薬を施した器を、1200度前後で焼成中に窯から引き出し、常温まで急速に冷やします。すると、器は深い黒色と艶を帶びます。焼成の途中で窯から取り出す技法から「引き出し黒」と呼ばれています。漆黒ながら、どこか柔らかみが感じられ、茶人たちが夢中になりました。

瀬戸黒茶碗 電燈所た壇コレクション 多治見市美濃焼ミュージアム蔵

安土桃山時代 美濃焼の白眉  
桃山陶

絢爛豪華な文化が花開いた桃山時代。茶の湯の流行から、国産の茶陶が注目されます。当時主流だった中国の模倣から離れ、自由で斬新な造形と、豊かな色彩のやきものが美濃でつくられました。それが「美濃桃山陶」です。16世紀の末期～17世紀初頭(安土桃山時代末期から江戸時代初期)のわずか30年ほどの期間でしたが、数多くの名陶がつくられ、美術品としても高く評価されています。

— 志野 —  
SHINO

## 白へのあこがれから生まれた

中国の白磁を写そうとする過程で生まれた、白いやきものです。釉薬は植物の灰ではなく、鉱物の長石を主原料としました。最大の特徴が、日本で初めて下絵付けがされたことです。下絵付とは釉薬をかける前に絵付けをする技法で、鉄を含む材料でつくられた絵の具が用いられました。



志野茶碗 銘都鳥  
土岐市美濃陶磁歴史館蔵

— 織部 —  
ORIBE緑釉を中心とした  
斬新な意匠

「へうげたるもの(ひょうきんなもの)」を好んだ茶人古田織部にちなんで織部の名で呼ばれています。大きく歪んだ奇抜な造形、緑・赤・白・黒などの色彩、大胆で幾何学的な文様などを特徴とし、従来のやきものの概念をくつがえす当時の前衛陶芸であり、美濃桃山陶の集大成とも言えます。

鳴海織部向付 元屋敷窯  
重要文化財  
土岐市美濃陶磁歴史館蔵



江戸時代～大正時代

## 陶器から磁器への転換

### 庶民の暮らしを支えた日用雑器

隆盛を極めた美濃桃山陶でしたが、権力者の交代により、これまでとは異なった新しい趣のやきものとなります。独創的で自由な織部ではなく、端正で上品な「御深井」の誕生です。これにより、美濃桃山陶の記憶は次第に失われていきました。

しかし江戸時代も中期になると、鉄釉や灰釉の碗や皿、徳利、土鍋などの日用雑器が生産の中心となります。やきもの産地としての存続を見据え、改めて市場を強く意識したことによる変化でした。飲食器だけでなく、ひょうそくなどの灯明具、仏壇に供える仏花瓶などの仏具類、餌付油を入れる餌ダライ、小鳥の餌入れの餌猪口など、美濃焼は江戸の暮らしのさまざまな場面で使われています。そんななか、高田の徳利や駄知の土瓶のように、地域ごとの产品も生まれています。

江戸後期、磁器の製造が始まります。陶石を用いる九州有田とは違い、美濃には陶石がなく、蛙目粘土に長石や珪石を混ぜた土で磁器がつくられました。陶器よりも硬くて白い磁器の生産は広まっていき、多くの新規参入者も現れました。



御深井釉描絵餌皿 乙塚東窯 土岐市美濃陶磁歴史館蔵

### 世界市場に乗り出した美濃焼

明治時代には美濃焼の国内需要が急激に伸びてきました。手描きから型紙描絵、銅版転写などの加飾技法が採用され、経済性や効率化を追求したこと、低コストによる大量生産が可能となり、美濃は陶磁器の大産地へと発展を遂げています。

しかし一方で、美濃焼は大量生産に過ぎないという評価も生まれています。そんな美濃焼の名誉を挽回しようと、多治見の陶器商・三代西浦圓治が自家の窯で「西浦焼」を始めます。最初に制作を担ったのは、名工・加藤五輔。精巧で緻密な染付製品がつくれられ、国内外で紹介されます。

明治11(1878)年のパリ万国博覧会で名誉賞を受けるなど、西浦焼は世界で認められ、海外の市場に参入。五代圓治の頃になると、多彩な絵の具により下絵付の文様を描き、その上に透明な釉薬をかけて焼く「釉下彩」の技法による絵付けが主流となります。当時流行していたアール・ヌーヴォー様式を取り入れたり、花鳥風月など日本をモチーフにしたりと、海外での評価も高く、世界の人々に愛好されました。

西浦焼 釉下彩紫陽花図花瓶  
多治見市美濃焼ミュージアム蔵

昭和時代～現代

## 美濃桃山陶の復興と継承

### 「志野」の再興に尽力した荒川豊蔵

昭和に入ってさらなる量産化が求められ、機械化の進展とともに独自の技術開発などを行い、さらに多様化していく需要に応じていきます。

地場産業として歩みを進めるのと並行して、芸術性の高い美濃焼をつくり、自らの表現を追求する陶芸家が出現します。そのなかのひとり、荒川豊蔵が昭和5(1930)年、可児市で志野の陶片を発見しました。それまで桃山陶は瀬戸でつくられていたという常識を覆し、桃山陶の産地が美濃であったことを明らかにした画期的な発見でした。

豊蔵は採集した陶片を研究して、志野、さらには瀬戸黒の復興に取り組みました。単なる再現にとどまらず、独自の造形美と色彩美を誇る作品を生み出しています。やがて豊蔵に刺激を受け、美濃桃山陶を復興すべく、多くの陶芸家たちが続きます。

美濃では、これまで豊蔵を含めて6人の人間国宝を輩出しています。そして現在も著名な作家をはじめ、400人とも500人とも言われる陶芸家が作陶に励み、先人たちの築いた技術と精神を受け継ぐと同時に、自由な発想による個性的なやきものも新しく生まれ出しています。

志野一文字文茶碗 荒川豊蔵  
多治見市美濃焼ミュージアム蔵

### 15の様式が伝統的工芸品に指定

昭和53(1978)年、美濃焼は伝統的工芸品に指定されました。8・9ページで紹介した「瀬戸戸」「瀬戸黒」「志野」「織部」のほか、次の11品目があります。

灰釉	草木の灰を溶媒とした釉薬、またはそれが使われたやきもののこと
染付	白地に青の呉須で絵付けを施して、その上に透明釉をかけたもの
天目	一般に、口が開き高台の締まった形状の茶碗で、鐵黒褐色釉をかけたもの
赤絵	白い素地に赤色を主調とし、多彩な絵の具で上絵付したやきもの
青磁	淡緑、青の釉薬をかけて高火度焼成したやきもののこと
鉄釉	植物の灰に酸化鉄を加えた釉薬、またはそれが使われたやきもののこと
粉引	鉄分の多い褐色の素地に白い化粧土を施して、透明釉をかけたもの
御深井	釉薬に含まれている鉄分によって淡緑色に発色し、青磁を感じさせる
飴釉	鉄分を主成分とする鉄釉の一種で、酸化焼成により飴色に発色する
美濃伊賀	花入や水指などでみられるような伊賀風のやきもののこと
美濃唐津	織部の窯で焼かれた唐津焼風のやきもので、唐津織部とも言う



現代

# 地域経済を支える美濃焼

## 全国シェア1位を維持し続ける 和・洋食器

第2次世界大戦後、他産地に先駆けて、美濃焼は量産化を行っていきます。和食器では普及品を主体に据えて、生産量の増加を図りました。洋食器の生産も、品質の画一化とコストダウンをめざし、早くから機械成形を導入して、価格競争における強さを発揮しました。昭和40(1965)年代半ばには、量産型産地としての優位性を確立し、美濃焼は日本一の生産量を誇るに至りました。

経済産業省の工業統計表(下記の表参照)で、国内シェアの推移を追ってみると、「陶磁器と飲食器」は全国シェア1位を続けながら、微増傾向が見られます。「陶磁器・洋飲食器」も1位を保持しつつ拡大傾向にありましたが、

## 和・洋食器

近年は横ばいの状態です。そんななか、和・洋食器も多品種少量への転換や、デザインを重視したものづくり、フレンチにも合う和食器の提案など、新たな動きが出てきました。

不要となった食器を回収してリサイクルする、環境に配慮した「Re-食器」も注目を集めています。さらには美濃焼のブランド力を高め、海外への販路拡大を掲げる「セラミックバレー構想」も進められています。

また、「土岐美濃焼まつり」をはじめとする陶器まつりの開催、「道の駅 志野・織部」「道の駅 どんぶり会館」などの販売と、美濃焼の和・洋食器をもっと身近に感じてもらえる機会や場を設けて、国内消費の拡大にもつなげています。

陶磁器関連製品の出荷額と全国シェア 工業統計表(品目別／従業員4人以上の事業所)より作成 ※令和元年の「モザイクタイル」のデータは未掲載

品目名	平成15年(2003)		平成25年(2013)		平成29年(2017)		令和元年(2019)	
	出荷額(百万円)	全国シェア	出荷額(百万円)	全国シェア	出荷額(百万円)	全国シェア	出荷額(百万円)	全国シェア
陶磁器と飲食器	25,876	39.7%	11,776	39.0%	12,496	40.7%	12,852	43.4%
陶磁器洋飲食器	16,045	40.6%	9,763	59.9%	10,412	70.7%	8,915	69.8%
モザイクタイル	19,854	87.9%	14,285	85.1%	13,431	86.0%	—	—
陶磁器用坯土	12,562	46.2%	7,010	62.7%	6,685	58.5%	7,009	61.3%

## シェア約6割の高品質な 陶磁器用坯土

東濃、瀬戸地域には、花崗岩を起源として形成された粘土層が広く分布しています。この良質な土こそ、美濃の地でやきもの産業が栄えた大きな要因です。

美濃で採取される粘土原料には「蛙目粘土」「木節粘土」「藻珪・砂婆」があります。蛙目粘土は世界でも最高の可塑性を誇る白粘土で、濡れると珪石の粒がカエルの目に見えることから名付けられました。木節粘土は蛙目粘土と同じく、高い可塑性を持つ白粘土ですが、やや細かく珪化木などを含むのが特徴です。藻珪・砂婆は花崗岩が風化した砂で、長石と珪石(比率5対5)を主成分とし、粉碎しやすく、陶磁器の重要な原料となっています。これらを調合し、陶器や磁器、タイルなど多様な美濃焼がつくられてきました。

陶磁器用坯土も全国シェアはトップです。経済産業省の工業統計表を見ると、「陶磁器用坯土」は平成25(2013)年が62.7%、平成29(2017)年が58.5%、令和元(2019)年が61.3%と、近年は6割前後で推移しています。



## 8割超のシェアを誇る モザイクタイル

大正3(1914)年、多治見でタイル産業が始まりました。昭和10(1935)年頃に、多治見市笠原町(当時は土岐郡笠原町)出身の山内逸三が、釉薬を施した磁器質のモザイクタイルの生産技術を確立させます。当初はわずかな生産量に留まっていましたが、戦後、特に高度経済成長期の好景気と建築ブームで、一気に需要が増加しました。対米輸出も盛んに行われ、主産地だった笠原町は国内屈指のタイル生産地へと成長を遂げたのです。

経済産業省の工業統計表によれば、平成29(2017)年の「モザイクタイル」の全国シェアは86.0%で全国1位です。

近年は新たな需要を開拓すべく、高い意匠性に加え、さまざまな機能性を付随したタイルの研究開発が取り組まれています。抗菌消臭作用を実現したタイルや超軽量タイルが製品化されるなど、メーカー同士が切磋琢磨しながら、美濃焼タイル産業のさらなる発展をめざしています。



# 美濃焼の可能性

新たなる価値を見出し、あふれるアイデアで  
わたしたちの生活を美しく彩る美濃焼の数々。  
美しい輝きの背景には、技術者たちの知恵と努力が秘められています。



## ペンダントライト

美濃焼製のシェードは、土のあたたかい質感と空間をそっと灯してくれるフォルムが特長的です。

3RD CERAMICS  
WEBにて注文販売  
<https://3rd-ceramics.com>



## モザイクタイル製洗面ボウル

色とりどりのタイルがかわいらしいレトロポップな洗面ボウルです。

株式会社日本セラティ  
WEBにて注文販売  
0572-54-3400  
<http://www.ceraty.jp/>



## 美濃焼・モザイクタイルアクセサリー

ほんの小さな作品1つ1つにも作り手たちの細やかなこだわりが光ります。



## ソープディッシュ

高い吸水・蒸発性を發揮するスウセラ®製で、石鹼を清潔に保ちます。

丸健製陶株式会社  
陶都創造館(多治見市本町5-9-1)など  
0572-22-5518  
<https://www.marukenseitou.com/>

## ①タイルピアス・イヤリング

TILEmade  
WEBにて注文販売  
0572-56-1777  
<https://tilemade.jp/>

WEB



## ②タイルペンダント

七窯社 鈴木タイル店(有限会社鈴研・陶業)  
多治見市高田町8-106  
0572-22-0388  
<https://nanayosha.com/>

WEB



## ③ヘアゴム

株式会社カネコ小兵製陶所  
土岐市下石町292-1  
0572-58-3433  
<https://www.ko-hyo.com/>

WEB



## ④ブローチ・ピンバッジ

イホシロ窯(マスターズクラフト株式会社)  
ちやわん屋みずなみ(瑞浪市上平町5-5-1)  
0572-22-0388  
<https://ihohiro.com/>

WEB



## ⑤タイルピアス

hacchi  
もとてらす東美濃(土岐市岐ヶ丘4-5-3)  
0572-22-5518  
[https://www.instagram.com/hacchi\\_3/?hl=ja](https://www.instagram.com/hacchi_3/?hl=ja)

WEB



## 限りある陶土・陶石を大切に——Re-食器

Re-食器の原料は、埋め立て処分されるはずだった不要食器。貴重な資源を未来に残そうと、美濃焼生産者が中心となり、環境にやさしい新たな食器のサイクル作りを進めています。



# 美濃焼を見る

美術館などの施設でアートに触れる時間を。陶芸作家の作品や資料など、実物から受ける印象は格別です。

TAJIMI/D-6

多治見市美濃焼ミュージアム



志野・織部など桃山陶をはじめ、美濃を代表する陶芸家の作品を展示。美濃焼の歴史を紐解きながら、その魅力を発信します。

WEB  
⑨ 多治見市東町1-9-27  
⑩ 0572-23-1191  
⑪ 9:00~17:00(入館16:30)  
休月(祝の場合翌平日)、年末年始

TAJIMI/H-7

市之倉さかづき美術館



幕末～昭和の薄く繊細な盃が並び、人間国宝・巨匠の作品も見どころ。ショップに関する良質な情報を発信しています。工房では約100人の作家作品を展示販売。

WEB  
⑨ 多治見市市之倉町6-30-1  
⑩ 0572-24-5911  
⑪ 10:00~17:00(展示室入場16:30)  
休火、年末年始

TAJIMI/C-5

とうしん美濃陶芸美術館



東濃信用金庫併設の美術館。加藤孝造氏が制作した陶壁や現代美濃陶芸作家の茶碗が見どころです。

WEB  
⑨ 多治見市虎渓山町4-13-1  
⑩ 0572-22-1155  
⑪ 10:00~17:00 (休月(祝の場合翌平日)、年末年始、展示替期間)

TAJIMI/J-3

岐阜県現代陶芸美術館



「陶芸の現代」をテーマに国内外の近現代陶芸作品を紹介。様々な角度から陶芸の「今」を伝えます。

WEB  
⑨ 多治見市東町4-2-5  
⑩ 0572-28-3100  
⑪ 10:00~18:00(入館17:30)  
⑫ 月(祝の場合翌平日)、年末年始

TOKI/L-4

KOYO BASE



ホテルや飲食店でも使われる、プロユース食器を家庭にをテーマに、食卓を彩るうつわの魅力を提案・販売をしています。

WEB  
⑨ 土岐市泉町久尻1496-5  
⑩ 0572-55-5501  
⑪ 11:00~17:00  
⑫ 火、水

TOKI/K-3

土岐市美濃焼伝統産業会館



この地で継承されてきた美濃焼の伝統的技法に関する資料や陶磁器を展示販売。作陶・絵付体験も有(要予約)。

WEB  
⑨ 土岐市泉町久尻1429-8  
⑩ 0572-55-5527  
⑪ 9:00~16:30  
⑫ 月(祝の場合火・水)、祝の翌日、年末年始

MIZUNAMI/Q-5

瑞浪市市之瀬廣太記念美術館



瑞浪市出身の彫刻家、故・市之瀬廣太氏や天野裕夫氏等の作品を展示。地元にゆかりある作家の企画展も開催しています。

WEB  
⑨ 瑞浪市明世町戸狩2-17  
⑩ 0572-68-9400  
⑪ 9:00~17:00  
⑫ 月、祝の翌日、年末年始、他

KANI/K-2

荒川豊蔵資料館



志野・瀬戸黒の技術で知られる人間国宝荒川豊蔵氏の作品やコレクションを展示。陶房・居宅も公開しています。

WEB  
⑨ 可児市久々利柿下入会352  
⑩ 0574-64-1461  
⑪ 9:30~16:00(入館15:30)  
⑫ 月、祝の翌日、年末年始、他

TOKI/L-4

織部の里公園



美濃窯最古の連房式登窯「元土敷窯」や復元された安土桃山時代の窯があり、美濃焼の歴史に触れられる公園です。

WEB  
⑨ 土岐市泉町久尻1426-1  
⑩ 0572-54-2710  
⑪ 9:00~17:00 (休月(祝の場合火・水)、祝の翌日(土日除く)、年末年始)

MIZUNAMI/Q-5

瑞浪市陶磁資料館



古代から現代までの美濃焼や陶磁器の生産用具、人間国宝(陶芸家)故・加藤孝造氏の作品を展示。絵付け体験も人気です。

WEB  
⑨ 瑞浪市明世町山野内1-6  
⑩ 0572-67-2506  
⑪ 9:00~17:00  
⑫ 月、祝の翌日、年末年始、他

MIZUNAMI/T-6

NPO瑞浪芸術館



江戸時代の茅葺き民家をリノベーションした現代的なギャラリーです。定期的に絵画・陶芸・木工・講座・ライブ・コンサート等を行っています。

WEB  
⑨ 瑞浪市稻津町萩原1220-2  
⑩ 0572-66-2170  
⑪ 不定休(WEBを確認)  
⑫ 9:00~16:30(入館16:00)  
⑬ 月、祝の翌日、年末年始、他

KANI/K-2

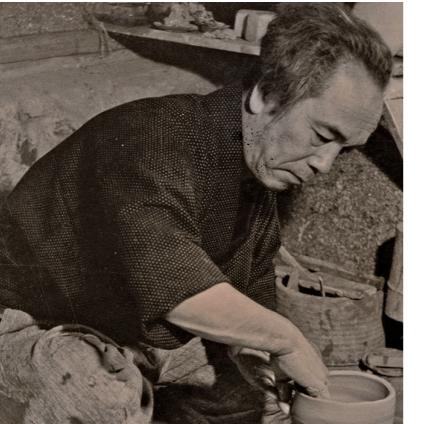
可児郷土歴史館



大平・大萱の古窯跡群を擁する久々利地区にあり、美濃桃山陶の黄瀬戸・志野・織部の優品を展示しています。

WEB  
⑨ 可児市久々利1644-1  
⑩ 0574-64-0211  
⑪ 9:00~16:00(入館15:00)  
⑫ 月、祝の翌日、年末年始、他

# 美濃焼ゆかりの人間 匠



重要無形文化財「志野・瀬戸黒」  
**荒川豊蔵**  
ARAKAWA TOYOZO

可児市内の窯跡で志野の陶片を発見し、同じ場所に窯を築いて桃山陶の再現に邁進。「志野」「瀬戸黒」で重要無形文化財保持者に認定され、「荒川志野」と呼ばれる独自性を確立しました。



重要無形文化財「色絵磁器」  
**加藤土師萌**  
KATO HAJIME

岐阜県陶磁器試験場で美濃焼の改良に努め、独立後、中国時代の色絵陶器の研究に注力。中国色絵磁器のなかで最も難しいとされた黄地紅彩や萌葱金襷手などの技法の再現に至りました。



重要無形文化財「白磁・青白磁」  
**塚本快示**  
TSUKAMOTO KAIJI

土岐市駄知町で江戸時代から続く快山窯の11代目。中国の白磁、青白磁を模範としながら、造形に独自のデザインを確立しました。素地が乾ききる前に加えられた繊細な文様などが特色です。



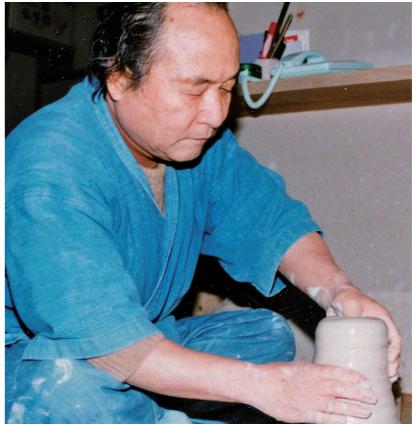
重要無形文化財「志野」  
**鈴木藏**  
SUZUKI OSAMU

現代の技術と独自の創造性で郷里のやきものである志野を取り組み、平成6年(1994)には、荒川豊蔵に次ぐ2人目の「志野」の重要無形文化財保持者に認定されました。



重要無形文化財「三彩」  
**加藤卓男**  
KATO TAKUO

古代ペルシア陶器の色彩や造形に魅了され、幻の名陶ラスター彩の復元に成功しました。宮内庁より正倉院三彩の再現を委嘱され、「三彩鼓胴」と「二彩鉢」を納入しています。



重要無形文化財「瀬戸黒」  
**加藤孝造**  
KATO KOZO

岐阜県陶磁器試験場では5代加藤幸兵衛に、独立後は荒川豊蔵に師事。志野・瀬戸黒を原点に、美濃焼の伝統的な技法の伝承と自己のやきものの表現を追求していました。



## 玉置 保夫氏

TAMAOKI YASUO



百有余年の歴史に培われた秘伝を継ぐ名匠。伝統を現代の陶芸と融合し、雅の器を創造しています。

今織部壺  
あくなき改革精神で、今の時代の織部を表現。

多治見市市之倉10-69  
0572-22-3707  
9:00~17:00 (土、日、祝(応相談)

TAJIMI / G-6

快山窯  
塙本 满氏

TSUKAMOTO MITSURU



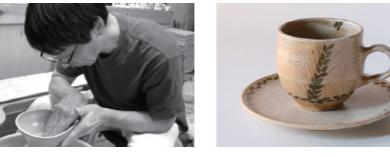
父・塙本快示の元で青白磁・白磁の技を研鑽。卓越した技術は土岐市無形文化財にも登録されています。

土岐市駄知町1805  
0572-59-8415 (9:30~17:00)  
(土、日は予約のみ) http://www.kaizan.net/

TOKI / O-6

むさし窯  
辻井 武蔵氏

TSUJI MUSASHI



東京造形大学卒業、愛知県立窯業高等技術専門校修了。草花や生き物などの自然を親しみやすく描きます。

青白磁 山ボウシ文皿  
麦文珈琲碗皿  
「日々の生活に彩りや温かみを加えたい」という思いで制作しました。

瑞浪市日吉町5451-1  
090-8807-8390 (要電話予約)  
https://instagram.com/tsuji\_musashi

MIZUNAMI / R-3

北冥窯  
林 保江氏

HAYASHI YASUE



祖父は黄瀬戸の大家である林景正。父・林虎男に師事し、伝統技法を今に伝えます。

瑞浪市大湫町221-31  
0572-63-2556 (FAX兼用)  
(不定休)(要事前確認)

MIZUNAMI / T-2

カネ利陶料有限会社  
日置 哲也氏

HIOKI TETSUYA



製土会社の代表と作陶家の二つの顔を持ち、土の可能性に挑戦する作品を発表しています。

志野四方皿、志野山月蓋物  
現象と、なにか  
原土を同型に型取り、素材や焼成の方法、温度を変え変化を検証した作品。

瑞浪市稻津町小里1161-1  
0572-68-3229 (9:00~18:00)  
(土、日、祝)  
https://kaneritouryou.com/

MIZUNAMI / R-7

黄瀬戸の里 井ノ口窯  
水野 敬子氏

MIZUNO KEIKO



土岐市生まれ、加藤唐九郎氏に師事。美濃焼伝統工芸士認定や中部経済産業局長賞など受賞しています。

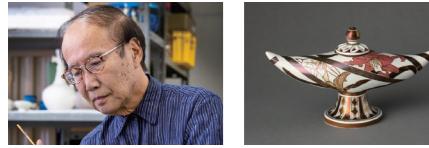
黄瀬戸コーヒー茶碗  
織細でやさしく、温かみのある黄瀬戸を中心に創作しています。

土岐市駄知町3-1  
0572-59-8025

TOKI / O-7

幸兵衛窯  
七代 加藤 幸兵衛氏

KATO KOBEI the Seventh



ラスター彩、淡青釉、三彩等の技法で現代感覚溢れる作品を制作。インランとの文化交流にも力を入れています。

ラスター彩カトレア文香炉  
遊牧民文化を象徴する香炉。ラスター彩の光沢が見所です。

多治見市市之倉4-124  
0572-22-3821  
平日・第1・3土 9:00~17:00、日・祝・第2・4土 10:00~17:00  
(年未始、お盆、入替期間) http://www.koubei-gama.co.jp

TAJIMI / H-7

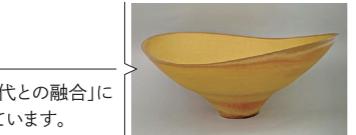
徳兵衛窯  
林 恭助氏

HAYASHI KYOSUKE



人間国宝加藤孝造氏に師事し、技術を研鑽。黄瀬戸の他、曜変天目の再現に成功したことでも知られます。

黄瀬戸大鉢



「黄瀬戸と現代との融合」に挑戦続けています。

正神窯  
林 正太郎氏

HAYASHI SHOTARO



桃山時代の志野の研究や珍しい割高台の造形などで美濃焼を牽引する作家。岐阜県重要無形文化財保持者です。

利休青紫志野割高台茶盃



青・紫・桃色と白い長石釉の均衡が美しい作品です。

輝山天神窯  
水野 輝幸氏

MIZUNO TERUYUKI



土岐市生まれ。志野の創作において経済産業大臣・中部経済産業局長表彰などを受けています。

鼠志野/志野コーヒー茶碗  
鼠志野の持つ味を生かした、現代の生活にも馴染む作品です。

土岐市泉町定林寺442-1  
0572-54-1821  
(要電話予約)

TOKI / M-3

北冥窯  
向井 一峰氏

MUKAI IPPO



織部の伝承・保存・創作など意欲的に活動。2016年に岐阜県伝統文化継承功績者顕彰を受賞しています。

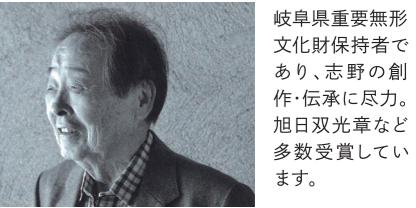
織部重鉢  
伝統的美濃焼の織部・御深井をベースに茶陶、普段使いの器などを作っています。

瑞浪市大湫町221-31  
0572-63-2556 (FAX兼用)  
(不定休)(要事前確認)  
est.1987.hokumei@gmail.com

MIZUNAMI / T-2

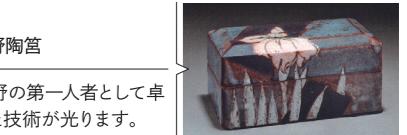
## 若尾 利貞氏

WAKAO TOSHISADA



岐阜県重要無形文化財保持者であり、志野の創作・伝承に尽力。旭日双光章など多数受賞しています。

鼠志野陶笛  
鼠志野の第一人者として卓越した技術が光ります。



# 美濃焼の作家

## 《若手作家》

美濃焼の伝統を受け継ぎ広める若き担い手たち。その活躍は目覚ましいものがあります。  
通信販売やクラフトマーケットが盛んな今日、美濃焼をより身近に感じさせてくれるでしょう。

アサ佳氏

ASAKA



▲ミナモノモアレ

色原 昌希氏

IROHARA MASAKI



▲胡粉茶壺

尾木 卓弥氏

OGI TAKUYA



▲土ノ形態1603

秋山 佳吾氏

AKIYAMA KEIGO



▲灰釉カップ

植物の灰を使った釉薬の自然な色に惹かれて、「日常生活が豊かになるような器を作りたい」と日々制作に取り組んでいます。

故金 あかり氏

KARUGANE AKARI



▲壺

温かみのある風合いや、どっしりとしたおおらかさと佇まい、そして繊細な表情が土の魅力。焼くことを通して、その魅力を表現しています。

高橋 生華氏

TAKAHASHI SEIKA



▲深川茶器ティーポット

多治見市陶磁器意匠研究所修了。イギリスの陶磁器に影響を受け、洋食器の伝統的な作り方である鋳込みを使い、ひとつひとつ手作りしています。

竹下 努氏

TAKESHITA TSUTOMU



▲青白小壺

白磁の食器を主に制作。食器棚にある数ある食器の中から、つい手を伸ばしたくなる器。そんな器を作るべく日々、土と向き合います。Instagram:tebucuro

田中 志保氏

TANAKA SHIHO



▲小花

イタリア・フィレンツェでデザインや陶芸を学び、13年滞在。帰国後は愛知県立窯業高等技術専門校を修了し、現在は織部ヒルズの工房で制作しています。

牧野 真由子氏

MAKINO MAYUKO



▲リトル・メデューサ

「見る人の空想の世界を開き、力を抜いて楽しめる作品を」と生み出された生き物たちは、どこかユーモラスで引き込まれる世界観です。



1986年に始まった「国際陶磁器フェスティバル美濃」は、回を重ねるごとに海外での認知度が高くなってきました。メイン催事の「国際陶磁器展美濃」は、今や世界の陶磁器デザイナーや陶磁器作家の登竜門として位置づけられています。

開催地の多治見市、瑞浪市、土岐市は、外国人観光客誘致に向け、さまざまな取り組みを行っています。1ヶ月滞在して作陶を学ぶ「滞在型作陶施設HO-CA」をはじめ、絵付けや作陶を体験できる窯元や工房は人気が多く、毎年数多くの外国人が訪れています。多治見市陶磁器意匠研究所では、2016年から外国人特別選考を設けました。日本で陶芸を学びたいと思う外国人は多く、例年多数の応募があります。

美濃焼の多様性は、その時々の流行やニーズに応じてきたことによります。言い換えれば、頑なに伝統を守るという閉鎖的なところがなく、どんなものでも受け入れる懐の深さを持っています。ひと対しても同様で、海外からの研究生や作陶体験に訪れたひとたちを温かく迎えてきました。ここ美濃焼産地には、学びの場、作陶しやすい環境、発表の機会がすべてそろっており、やきものを愛するあらゆるひとたちにとって、魅力的な場所となっています。

國を越え、どんなものも受け入れる  
懐の深さから次の美濃焼が生まれる



呂雪韻さん  
ロセツイン

中国では、「美濃焼」は身近な存在でした。伝統的な器から現代的な作品まで、美濃焼の表現はとても多彩で、魅力的です。ギャラリーの仕事をしながら制作も続けていて、光と風を作品の表情に生かしたいと頑張っています。

中国生まれ。京都伝統工芸大学校工芸コース陶芸専攻を経て、多治見市陶磁器意匠研究所セラミックスラボを修了。現在は多治見市文化工房ギャラリーヴォイスで勤務。



孫孝遠さん  
ソンヒョウオン

大学ではデザインのほか、釉薬にも興味を持ち、論文も複数発表しました。会社ではリサイクル食器の制作にも携わっています。どんなチャレンジも許される点が美濃焼の魅力。足を止め、手に取ってもらえるデザインをめざしています。

韓国出身。愛知県立芸術大学大学院美術研究科陶磁専攻に留学。修士課程修了後、瑞浪市の市原製陶株式会社に就職し、現在はデザイナーとして活躍。



Allman Madeline Fayeさん  
アルマン・マデリン・フェイ

中学生の頃に陶芸と出会い、自分の思うままに形をつくり、絵を描けるところが好きになりました。偶然にも赴任先が陶磁器の楽園のような土岐市で、本当にうれしかったです。今も趣味として、いろいろな作品づくりを楽しんでいます。

アメリカ出身。大学では環境学を専攻しながら、興味のあった陶芸のクラスにも参加。現在は土岐市の小・中学校でALT(外国語指導助手)を務める。



# 美濃焼を体験

美濃焼の作陶体験ができる施設では、自分だけの一品を作ることができます。手びねりや電動ろくろでマグカップや湯呑みを作ったり、アクセサリーなどの小物を作ったり。もちろん陶芸が初めてでも大丈夫。素敵な作品と思い出を作りませんか？

TOKI/L-4

## 角山製陶所

130年以上続く窯元での体験は、日々うつわが生み出される現場ならではの空気に触れられるのも魅力です。



WEB

TOKI/L-2

## 手わざ工房 匠の館

ろくろで器づくりが体験できます。十数名の陶芸家たちの共同工房でもあり、作品も販売されています。



WEB

MIZUNAMI/S-8

六連房登り窯  
陶与左衛門窯

世界一のこま犬や世界一の茶壺にほど近い、六連房の登り窯。毎年9月に焼成を行います。



WEB

MIZUNAMI/Q-5

## 瑞浪市陶磁資料館

専用のクレヨンや油性マーカーを使って、気軽に楽しめるコーナーやブチオカラーニなどの絵付けが体験できます。



WEB

TAJIMI / B-5

## 虎渓窯

初心者でもろくろで本格的な美濃焼作りに挑戦でき、豊富な釉薬を用いて自分だけの器を探求できます。



WEB



TAJIMI / C-4

## 七窯社 鈴木タイル店

美濃焼タイルや陶器の温かさを感じられる「やきものアクセサリー」のワークショップが体験できます。



WEB



WEB



TAJIMI / D-6

安土桃山陶磁の里  
ヴォイス工房

年1回開かれる「穴窯フェア」では、穴窯で薪をくべて、昔ながらの方法で器を焼成できる貴重な体験ができます。



WEB



TAJIMI / B-4

こども陶器博物館  
KIDS LAND

「来て、見て、体験！」陶器への絵付けが簡単に楽しく体験できます。ポーセラーツ(転写)コースもあります(要予約)。



WEB



WEB



TAJIMI / B-3

窯元織部本店  
アトリエ織部

品揃え豊富な販売店に併設する体験工房。ろくろ・手びねり・たたらで自分だけの陶芸作品作りができます。



WEB



TAJIMI / A-7

## ボイス オブ セラミックス

電動ろくろや手びねりで初心者でも楽しく陶芸体験ができます。体験スペースが広く、最大200人の団体でも利用OK。



WEB



WEB



## シェフの気まぐれランチ

地元のうつわと旬の食材を生かした料理をカジュアルに楽しむ、結婚式場が手掛ける隠れ家キッチンです。

Kitchen TOOKI(キッチントーキ)

TOKI/L-6

⑨ 土岐市土岐津町土岐口2495-2  
⑧ 0572-26-9888  
⑩ 木・金11:00~14:00(予約制)  
⑪ 不定休 ⑫ 有

WEB



# 美濃焼 と美食

## 国産馬刺し7種盛

九州の契約牧場から直送する純国産馬刺し。  
ふたえごや特上霜降りなどが楽しめる一皿です。

仕出し・寿司会席 駒寿し

TOKI/M-4

WEB



## 樽生クラフトビール

醸造所併設バーならではの出来立てビールを、陶芸家と開発したピアカップで。より深い味わいを堪能できるはず。

カマドブリュワリー HAKOFUNE

⑨ 瑞浪市金戸町3154-3 ⑧ 0572-51-2620  
⑩ 金18:00~22:00、土12:00~22:00 WEB  
日・祝12:00~19:00

⑪ 月~木  
⑫ 有

MIZUNAMI/T-3



## 瑞浪ボーノポークセット

美濃焼の大皿に地元ブランド豚肉・瑞浪ボーノポークや野菜などが勢ぞろい。手ぶらで利用できる屋根付きバーベキュー場です。

きなあた瑞浪 バーベキュー広場 MIZUNAMI/R-4

⑨ 瑞浪市土岐町6059 ⑧ 050-3187-8655  
⑩ 平 日11:00~16:00  
土日祝10:00~13:00(L011:00)  
14:00~17:00(L015:00)  
⑪ 火 ⑫ 有

WEB



## 会席

美しい器が彩るA5飛騨牛や鮮魚、旬のおもてなし料理を、掘りごたつでゆったり楽しめます。

日本料理 わさび

⑨ 多治見市住吉町2-1-1  
⑧ 0572-23-8110  
⑩ 11:00~14:30(L013:45)  
17:00~22:00(L020:00)  
⑪ 月(祝の場合は翌火)  
⑫ 有

WEB



## 優月オリジナルキャビア

多治見市観光大使の店主自ら、料理に合わせて陶器をデザイン。食を通じて地元や日本料理の魅力を伝えます。

うなぎ 日本料理 優月

⑨ 多治見市音羽町4-32-1 1F  
⑧ 0572-44-8324  
⑩ 11:00~13:30、17:00~22:00  
⑪ 不定休 ⑫ 有

WEB



# 東濃焼を貰う

お気に入りを探して、ヴィンテージショップがひしめく東濃エリア。その個性はさまざま。

TAJIMI/H-3

陶都創造館



蔵のイメージを取り入れたモダンな外観。多治見の土産や美濃焼を購入でき、ギャラリーも併設しています。

WEB  
⑨ 多治見市本町5-9-1  
⑩ 0572-26-8509  
⑪ 10:00~18:00(一部テナントは~16:00)  
⑫ 年末年始(一部テナントは水定休)

TAJIMI/D-5

ギャルリ百草



陶作家・安藤雅信氏が主宰するギャラリー。衣食住から見つめた美術・工芸の在り方を紹介しています。

WEB  
⑨ 多治見市東栄町2-8-16  
⑩ 0572-21-3368  
⑪ 11:00~18:00  
⑫ 不定休

TAJIMI/H-3

新町ビル  
山の花

50年前のビルを改築した新町ビルの中で、東美濃の作家・メーカーのやきものを中心に幅広く販売しています。

WEB  
⑨ 多治見市新町1-2-8 新町ビル2F  
⑩ 0572-44-7711  
⑪ 12:00~18:00  
⑫ 火、水

TAJIMI/H-3

織部うつわ邸



情緒あふれる旧商家を利用した店。地元窯元の個性的な作品や和洋陶器・和雑貨を販売。

WEB  
⑨ 多治見市小路町3-2  
⑩ 0572-25-3583  
⑪ 10:00~17:30  
⑫ 無休

TOKI/L-2

道の駅 志野・織部



志野・織部・黄瀬戸など数々の名品が焼かれた地を象徴する煙突が目印。陶磁器がリーズナブルに購入できます。

WEB  
⑨ 土岐市泉北山町2-13-1  
⑩ 0572-53-3017  
⑪ 9:00~18:00  
⑫ 年末年始

TOKI/M-4

陶土う庵～とうとうあん～



由緒ある美濃焼の新作を季節に応じて展示販売。リニューアルした明るい店内と併せて、WEBショップ(下記QR)も展開中。

WEB  
⑨ 土岐市泉北山町4キヨヒビ土岐P  
⑩ 0572-53-0005(土、日、祝除く)  
⑪ 9:00~17:00  
⑫ 年末年始

TOKI/N-6

道の駅 土岐美濃焼街道  
どんぶり会館

陶芸体験の他、市内約100の窯元の作品も販売。どんぶりプレゼント付きランチがあるレストランも魅力です。

WEB  
⑨ 土岐市肥田町肥田286-15  
⑩ 0572-26-5611  
⑪ 9:00~17:30(冬期は17:00)  
⑫ 火(祝の場合は翌日)  
⑬ 各店舗により異なる  
⑭ 各店舗により異なる

TOKI/L-2

織部ヒルズ



ナゴヤドーム5個分の敷地に個性豊かな10店舗が集結。上質な「陶器のある生活」を提案しています。

WEB  
⑨ 土岐市泉北山町3-1  
⑩ 0572-55-1322  
⑪ 各店舗により異なる  
⑫ 木

TOKI/L-6

テラスゲート土岐まちゆい  
もとてらす東美濃

東美濃エリアの観光情報や魅力を発信するスポット。地元陶芸家の作品や名産品などを取りそろえています。

WEB  
⑨ 土岐市土岐ヶ丘4-5-3  
⑩ 0572-55-1123  
⑪ 10:00~18:00  
⑫ 木

／もっと／詳しく知りたい方は／

多治見市: <https://tajimi-dmo.jp>

土岐市: <https://toki-kankou.jp>

瑞浪市: <https://xn--w0w51m.com/>



美濃焼の魅力があふれる場所、もの、ことをたくさん紹介しています。自ら産地へ赴き、「ふれる」「つくる」「あじわう」「かう」といった普段はできない体験で、記憶に残る1日をお過ごしください。

# 東濃イベントカレンダー

春(3~5月)

夏(6~8月)

秋(9~11月)

冬(12~2月)



…美濃焼関連イベント

TAJIMI | 4月第3土・日曜日

## たじみ陶器まつり(春)

毎年県内外から人が訪れる賑わう春の風物詩。廉売市が開かれ、様々なやきものと出合えます。



MIZUNAMI | 4月14日に近い日曜日

## 半原文楽奉納

県指定無形民俗文化財に指定されている操り人形淨瑠璃による奉納上演です。



TOKI | 5月3日～5日

## 春の美濃焼 伝統工芸品まつり

伝統工芸士が手がけた一品の販売や伝統工芸品を使用しての茶会などが開催されます。



TOKI | 5月3日～5日

## 土岐美濃焼まつり

日本三大陶器まつりの1つである陶器市。出店者は300を超えるます。



TAJIMI | 7月下旬

## 炎の祭典 土岐市織部まつり

土岐川河川敷で行われる花火大会。土岐市の夏の風物詩です。



TAJIMI | 8月1日に近い日曜日(予定)

## みんなでてりやあ夏まつり& 多治見市制記念花火大会

音楽に合わせるミュージック花火が見もの。夏まつりご当地横丁に多くの子どもが訪れます。



MIZUNAMI | 8月7日に近い土・日曜日

## 瑞浪美濃源氏七夕まつり

バサラ踊りや花火、美濃焼の土に触れる陶土フェスタなどが開催されます。



TAJIMI | 10月中旬～11月中旬

## 国際陶磁器フェスティバル美濃

3年に一度開催される世界最大級の祭典。世界各国の陶磁器作品が展示されます。



MIZUNAMI | 9月最終金・土曜日

## 美濃歌舞伎公演

明治時代の芝居小屋を移築・復元した相生座で、美濃歌舞伎保存会が上演します。



TAJIMI | 10月中旬

## たじみ陶器まつり(秋)

美濃焼の大廉売市や蔵出しセールが行われます。大抽選会や催し物も同時開催。



TAJIMI | 10月中旬

## 美濃焼祭(みのやきさい)

巨匠陶芸家による作品展示や地元窯元の陶磁器販売を通して美濃焼の魅力を発信。



TOKI | 10月第2日曜日

## 八幡神社例祭「流鏑馬」

陣笠陣羽織や古式衣装姿の6人の少年たちが馬を操り、参道を疾走。迫力満点です。



TOKI | 10月下旬～11月上旬

## 下石どえらあええ陶器まつり

100近くの窯元がある下石町で開催されます。窯元めぐり他、ステージイベントもあります。



TOKI | 11月中旬

## 穴弘法もみじ 100地蔵のライトアップ

夕闇に浮かぶもみじと蠟燭に照らされた104体の石仏が美しい情景をつくります。



TAJIMI | 11月3日

## 多治見まつり

美濃ゆかりの武将やその奥方が道を練り歩くパレード。駅前でイベントも開催。



MIZUNAMI | 11月

## みずなみ陶器まつり

陶磁器即売会の他、絵付け体験コーナーや瑞浪のグルメコーナーなどもあり、年齢問わず楽しめます。



TOKI | 11月上旬～中旬

## 曾木公園もみじライトアップ

モミジやカエデなど約300本の樹木が色づき、ライトアップされます。大小8つの池に映る「逆さ紅葉」をぜひ写真に収めてみて。



MIZUNAMI | 12月中旬

## バサラカーニバル

1万人を超える人々が全国から集まり踊りを披露。記念のモチ投げも行います。



\*各イベントは開催年によって日程や内容の変動があります。

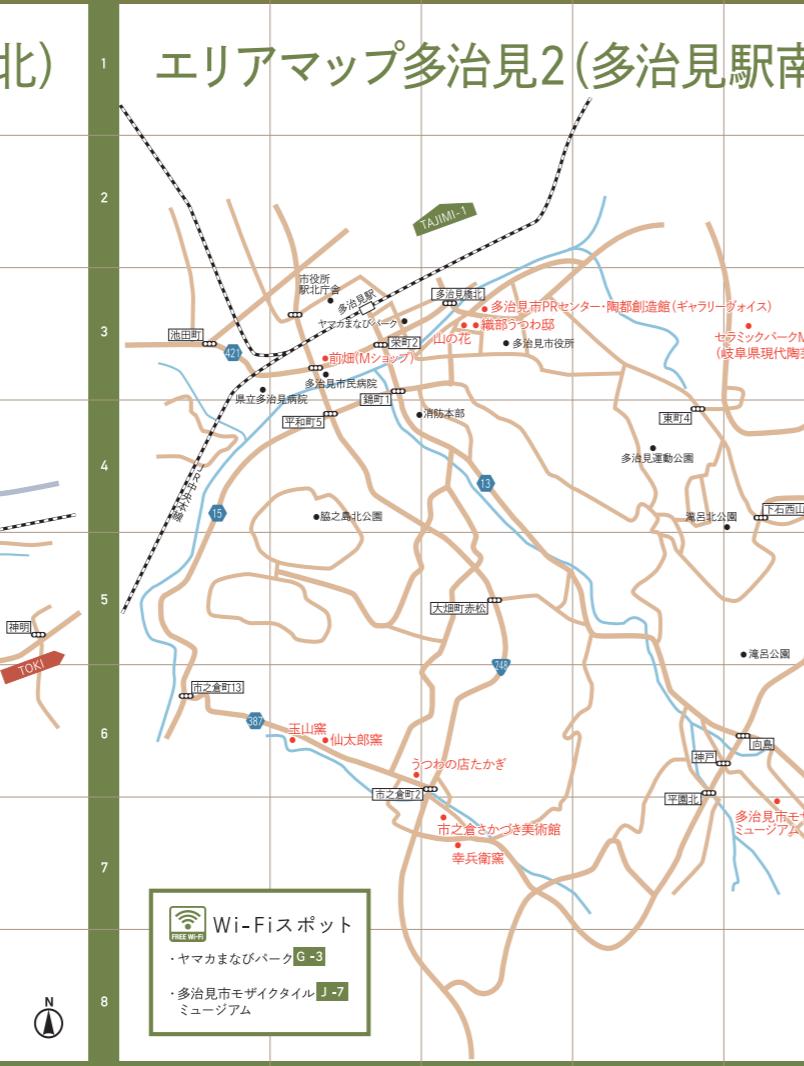
36

## エリアマップ多治見1(多治見駅)



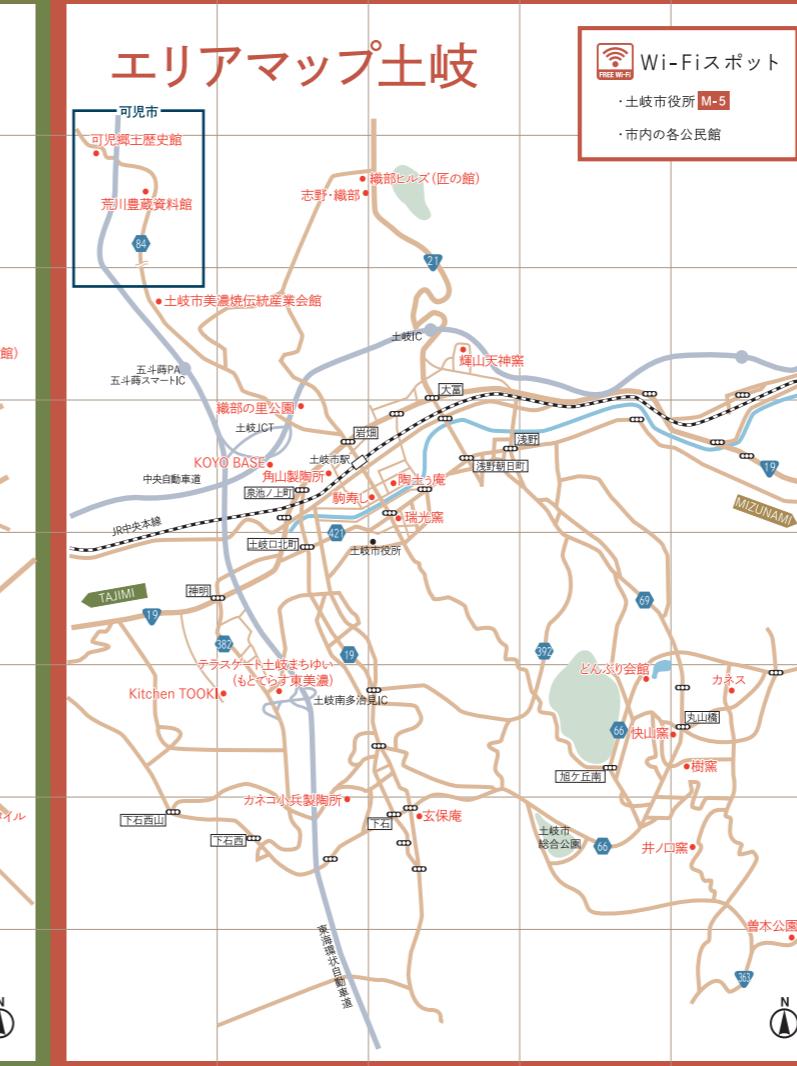
1

## 1 エリアマップ多治見2(多治見駅南)



1

# エリアマップ土岐



37

エリアマップ<sup>®</sup>瑞浪



# 美濃焼の旅 INFORMATION

旅をより楽しく過ごすための役立つ情報をチェックしましょう。



## ① 観光に関するお問合せ

### 多治見市PRセンター

0572-23-5444 〒多治見市本町5-9-1(陶都創造館1階) [tajimi-dmo.jp/tajimiprcenter/](http://tajimi-dmo.jp/tajimiprcenter/)

### 多治見駅観光案内所

0572-24-6460 〒多治見市音羽町2 JR多治見駅2階

### 中山道観光案内所(丸森)

0572-63-2455 〒瑞浪市大湫町445-2 [okute-shuku.jp/about/marumori](http://okute-shuku.jp/about/marumori)

### (一社)土岐市観光協会

0572-54-1111 〒土岐市土岐津町土岐口2101(土岐市役所内) [toki-kankou.jp](http://toki-kankou.jp)

### もとてらす東美濃

0572-55-1123 〒土岐市土岐ヶ丘4-5-3(テラスゲート土岐・まちゆい内) <https://mototerasu-higashimino.jp/>

### 瑞浪市観光協会

0572-51-8161 〒瑞浪市上平町5-5-1 [瑞浪.com\(xn-w0w51m.com\)](http://瑞浪.com/xn-w0w51m.com)

## ② レンタカー

### ジャパンレンタカー(株) 多治見店

0572-24-2121 〒多治見市若松町2-19-1  
[j-rentacar.com/store/tajimi.php](http://j-rentacar.com/store/tajimi.php)

### トヨタレンタカー 多治見店

0572-25-0160 〒多治見市白山町4-33-1  
[rent.toyota.co.jp/sp/shop/detail.aspx?rCode=64501&eCode=006](http://rent.toyota.co.jp/sp/shop/detail.aspx?rCode=64501&eCode=006)

### オリックスレンタカー 多治見店

0572-21-0543 〒多治見市若松町1-9-1  
[car.orix.co.jp/shops/?shops\\_pk=428](http://car.orix.co.jp/shops/?shops_pk=428)

### (株)ホンダカーズ岐阜 土岐店

0572-55-4611 〒土岐市泉大島町5-8  
[www.hondacars-gifu.co.jp/home/sr10.html](http://www.hondacars-gifu.co.jp/home/sr10.html)

### トヨタレンタカー 土岐店

0572-53-1200 〒土岐市泉田町2-21  
[rent.toyota.co.jp/sp/shop/detail.aspx?rCode=64501&eCode=017](http://rent.toyota.co.jp/sp/shop/detail.aspx?rCode=64501&eCode=017)

### ニコニコレンタカー 瑞浪薬師店

0572-67-3711 〒瑞浪市薬師町4-30-1  
[2525r.com/gifu/mizunami/store-00074-002.html](http://2525r.com/gifu/mizunami/store-00074-002.html)

## ③ タクシー

### 多治見タクシー

0572-22-2216

### 平和タクシー

0572-68-6111

### コバヤシタクシー

0572-68-3311  
0120-33-1168

対応エリア… ■ 多治見 ■ 土岐 ■ 瑞浪

### 近鉄東美タクシー多治見営業所

0572-22-6236

### 東鉄タクシー

0572-22-1211(多治見) 0572-68-2277(土岐・瑞浪)

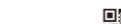
### SKUタクシー

0572-65-2889

## ④ バス

### ききょうバス

[www.city.tajimi.lg.jp/kurashi/toshikekaku/kotsu/kikyobus/index.html](http://www.city.tajimi.lg.jp/kurashi/toshikekaku/kotsu/kikyobus/index.html)



### 土岐市民バス

[www.city.toki.lg.jp/kurashi/doro/1004727/1004385.html](http://www.city.toki.lg.jp/kurashi/doro/1004727/1004385.html)



### 平和コーポレーション

[www.heiwa-co.com/](http://www.heiwa-co.com/)



### 東濃鉄道

<https://tohtetsu.co.jp/>



## このパンフレットに関するお問合せ

### 多治見市産業観光課

0572-22-1250

### 土岐市産業振興課

0572-54-1111

### 瑞浪市商工課

0572-68-2111

東濃西部広域行政事務組合

発行:2023年12月 このパンフレットは令和3年度に岐阜県清流の国ぎふ推進補助金を受けて制作しました